

2021年度 メリー★ポピンズ 南蒲田ルーム 事業計画書

1 基本方針

「子どもたちの“今”に寄り添う保育」

子育て理念・・・「にんげん力。育てます。」

子育て目標・・・「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

上記の理念・保育方針及び、保育所保育指針に記載されている、乳児期の3つの視点「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」や、1歳以上3歳未満児の保育内容・5領域に則り、以下を重点として保育を展開する。

●【どろんこ会の子育てで身に着く6つの力】

- ・ケガをしない強い力を育てる
- ・自分でできることを自分でする
- ・すべての人との関わりから判断・行動を身につける
- ・活動を選択し自分で考えて行動する
- ・生死を知る
- ・感じたこと・考えたことを表現する

上記を念頭に置き、子どもが345歳児、就学と成長を重ねると共にしっかりとそれらの力を身につけられるよう、012歳児の大切な時期にその基盤となる保育者等との信頼関係や安心感、自分を信じる力、他者を信頼する力を育ていけるようにする。

- 子どものアタッチメントの要求を丁寧に満たし、子どもの思いに共感したり、応じたりすることで、自我の成長や自己肯定感を育ていけるようにする。
- ありのままの子どもをまるごと温かく受け止めることで、子どもが自分の気持ちをコントロールして、自発的に物事に取り組んでいけるようにする。
- クレヨンや絵の具、シール、廃材など様々な素材とふれあえる環境を構築し、子どもが思うままに、自らそれらに関わって表現を楽しめるようにする。
- 正解や答えのない、その子なりの表現や世界に共感したり寄り添ったりすることで自信につなげていく。
- 様々な素材とふれあえる環境の下で存分に五感を刺激しながら、心を動かす体験を重ねられるようにする。
- 様々な素材とふれあう中で、子どもが今の自分と向き合いながら、自己という感覚を養いながら、自律的に学び続けていけるようにする。
- 戸外活動での様々な事象や異年齢（集団）での生活や遊びを通して、思い通りにいかないことや他児とのぶつかり合い、葛藤などの体験を重ねられるようにする。
- 子どもを温かく見守ることで、子どもが自分の気持ちをコントロールして立ち直ったり、新たな思考を生み出したりしていけるようにする。
- 畑仕事やクッキング、日々の食事の体験から、食の楽しさを感じたり、食材や食の循環を認知

したりできるようにし、食を通して興味や探求心を育ていけるようにする。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- ・子ども主体の遊びが学びであることをしっかりと保障したうえで、子どもが夢中になって遊びこめる環境を構築し、そこから見えてきた子どもの姿の記録と語り合いを重ねながら、子どもを肯定的に捉える力を養っていけるようにする。同時に、保育者間の対話や専門性の向上、保護者への記録の共有（コミュニケーション）を通して、人間力のある保育者集団を目指す。
- ・日々、意識的に子どもの姿を振り返ったり、語り合ったりできる風土を形成し、そこで共有した子どもの姿を基盤として明日からの保育を生み出していけるようにする。
- ・職員同士が互いの違いを受け入れ、尊重、信頼し合い、それぞれがそれぞれの関わりで責任をもって子どもに寄り添うことで、漏れなく子どもたちを受け止められるようにしていく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

- ・人との距離を取らなければならない時代だからこそ、より一層心の繋がりは密にしていけるようにする。
- ・日々のコミュニケーションやおもてなしを大切にし、園と家庭の双方向からの伝え合いができるようにする。
- ・ポートフォリオやドキュメンテーション等で子どもの姿を見える形で伝え、そこから生まれる対話や日常的な会話を通して、共に成長を喜び合い、共に子どもを見守っていけるようにする。
- ・保護者に対して相談や助言を行う際は、保護者の受容、自己決定の尊重、プライバシーの保護や守秘義務などの基本的姿勢を踏まえ、子どもと家庭の実態や保護者の心情を把握し、保護者自身が納得して解決に至ることができるようにする。

〈3〉 地域の子育て支援事業

- ・コロナ禍においては交流やふれあいが難しい状況にある為、まずは日々の散歩での挨拶や笑顔、元気を大切にし、その子どもたちの姿から「うるさい」だとか「迷惑」だとかではなく、『元気』や『希望』、今を生きる『力強さ』などを感じてもらえるような繋がりを作っていけるようにする。
- ・来訪者の多くを占める見学対応では、園の概要や施設の案内だけではなく、子育てについての何気ない会話をしたり、対応の短時間ではあるが、わざわざ足を運んでいただいた貴重な時間で少しでもリラックスしていただけるような「おもてなし」をしたりできるようにする。
- ・保護者や来園いただいたことのある地域家庭等を対象にした地域公開講座を開催し、子育ての課題や多様な保護者への理解を積み重ねていく。また、保育士の専門性を活かした支援を行っていく。

〈4〉 次世代を担う職員育成

- ・職員1人ひとりが自ら発言できるような、あたたかい雰囲気の語り合える風土を形成し、その中で毎日の保育実践とその振り返りを重ね、専門性を向上していく。
- ・職員1人ひとりが自ら発言できるような話し合える場を作り、自ら学んだことを他職員と共有し、学び合っていけるような職員集団を目指す。

〈5〉 「安心の基地」「安全な避難場所」としての保育者

- ・温かい雰囲気の中で、子どもが安心感、信頼感を感じながら、のびのびと過ごせるようにする。
- ・子どもが主体的に夢中で活動している際は、必要以上に介入せずにあたたかく見守り、学んでいるその姿を応援すること。子どもが恐れや不安などを感じ「くつつく」ことを求められた際は、しっかりとその気持ちに寄り添い、崩れた感情を立て直してあげること。この二つの姿勢を大切にし、子どもが希望を抱きながら外の世界へと飛び出していけるようにする。

〈6〉 表現

- ・日々の散歩や戸外活動での時間を大切にし、そこでの体験を通した様々な「発見」や「感じる」ことを基盤に、その子なりの表現が生まれるようにする。
- ・多様なものに出会い、触れ合える環境を構築し、そこでの体験を通して、形や色、感触、音など、様々な感覚を養っていけるようにする。また、保育者は子どもが味わったその感覚と一緒に楽しんだり、イメージを共有したり共感したりすることで、子どもの感性を豊かにしていけるようにする。

〈7〉 同僚との日常的な学び合い

- ・保育者一人ひとりが自ら発言、発信できるような温かい雰囲気とやりたいことをやってみることのできる環境を構築し、チームで前向きに学んでいけるようにする。
- ・保育者同士が互いを認め合うことを大切な姿勢とし、子どもに心を惹かれたことや子どもに対する気づきなどをリラックスした中で日常的に語り合える関係を築き、そういった日々の子どもの姿の共有を積み重ねながらチームで主体的に学んでいける保育者集団を目指す。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9人	4人	4人	—	—	—	17人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	3人	保育士	3人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	0人
パート職員	3人	保育士	2人	補助	0人	事務	0人	調理	0人
		用務	0人						
嘱託職員	0人	嘱託医	0人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

5 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	保育内容・子どもの様子・行事・園内研修など
給食運営会議	月1回	食育活動・献立見直し・子どもの発達など
ケース会議	月1回	個別支援計画を基に、対象児への支援を深める
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の分析
昼礼	毎日	その日の子どもの姿の共有・翌日の保育計画

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	法人内統一の事案を共有し、意見交換する場
施設長勉強会	月1回	施設長のスキルアップを目的とした場
食育会議	年4回	施設長及び栄養士、調理師が参加し、今後の方針を話し合う場
保健会議	年4回	施設長及び看護師が参加し、今後の方針を話し合う場

〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生点検・保育室の環境整備
安全対策係	設備・事故防止点検、保育室の安全管理
防火管理者	避難訓練の計画、実施
食品衛生責任者	衛生点検、調理室及び食品の管理
環境整備・備品係	園内外の環境整備状況の管理、備品の点検と補充
畑係	畑状況の管理、道具類の維持補充、畑活動の把握や計画
生き物係	生き物の世話、飼育計画
おもてなし係	保護者、見学者、地域の方々へのおもてなし

〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
各行事	行事内容の計画・実施

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none">● 様々な行動や欲求に適切に応え、特定の大人との情緒的な絆を形成する。● 探索活動を楽しみながら、様々な感覚が育つ。
	下半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none">● 身近な大人との安定した関係の下、ひとり遊びを十分に楽しみながら、自我が芽生える。● 様々な遊びや身近な人との関わりを通して、自我が育つ。
保育参加	4～3月	<ul style="list-style-type: none">● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none">● 随時、希望する保護者に対し実施● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	<ul style="list-style-type: none">● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- 子どもが食事のおいしさや楽しさを感じられる環境と保育者の関わりを大切にし、子どもが昼食の時間が来るのを楽しみにして自ら進んで食べようという意欲を引き出せるようにする。
- 毎朝のみそ汁や野菜スープなどの汁物作りを習慣にし、保育者を含む、皆で作ったものを皆で分け合い、皆で味わう体験ができるようにする。
- 五感を通して、食材を知ったり、感じたり、食を味わったりできるようにする。
- 自分で量を決めたり、配膳したり、片付けたりする。自分でできることは自分でする。
- 個々の欲求に応じて、温かく、心地よい、授乳ができるようにする。
- 家庭と連携し、離乳食の段階や食材の大きさ、食具の選択、介助の仕方等、個々に応じた食事を提供できるようにする。
- クッキングを通して、様々な食材に触れ、様々な工程を経験する。また、食事のできる工程を知る。

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回

職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯みがき指導
流行が予測される感染症	<p>通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。</p> <p>7月頃...手足口病、RSウイルスなど</p> <p>12月頃...インフルエンザ、ノロウイルスなど</p>
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・預かりなし
エピペン使用できる職員	本日現在6名が、研修受講し、習得済み。未受講者は3月キックオフミーティング時に受講、習得予定。
その他保健に関する取組	<p>おむつ交換や嘔吐処理手順のロールプレイ</p> <p>感染症などにおける園内研修</p> <p>看護師による職員向け指導</p> <p>新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。</p>

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

- ・テラスアトリエ化計画を遂行し、子どもが様々な素材と自ら思うままにふれあえる環境を構築する。
- ・子ども一人ひとりをよく観察し、子どもの発達や意欲、興味に沿った環境づくりを継続していきけるようにする。
- ・子どもを主体として捉え、子どもの自発的な活動を保障し、子ども自らが自分で自分を伸ばしたい、できるようになりたいと思い、様々なことにチャレンジできるようにしていく。
- ・1人ひとりの子どものアタッチメントの要求を丁寧に満たしてあげ、特定の大人との情緒的な深い絆を築いたうえで、子どもたちが信頼感や安心感、自信をもって活動できるようにする。
- ・自由に行き来できる大きな家の中で、年上の子が小さい子のリードをして、小さい子はそれを見て年上の子に憧れることができるようにする。他児との関わりや見て真似る（学ぶ）ができるような環境を設定する。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 避難訓練（地震・火災）月1回15日
- ② 不審者侵入訓練 6月・12月
- ③ 事故防止チェックリスト 4月・7月・10月・12月
- ④ 設備安全点検実施
- ⑤ 事故記録簿、インシデント、ヒヤリハット記入・閲覧・分析
- ⑥ 生存確認
- ⑦ 光化学スモッグ注意報発令情報確認
- ⑧ 室内、公園、散歩ルートของハザードマップ作成

8 実習生・中高生の受入

- ・次世代育成の観点から、積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の1人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。また、未来の親として、『子ども（乳児）』を知ってもらうとともに、子どもの愛おしさや力強さを感じてもらおう。
- ・温かい雰囲気と丁寧な受け答えや指導を心掛け、まずは「子どもっておもしろい」「保育って楽しい」といった、机上の学びとは異なる魅力を感じてもらえるように努める。
- ・在籍職員の出身校を訪問し、どろんこ会の子育てを知ってもらおうと共に、実習生やボランティアの受け入れ、保育士の採用につなげていく。

【中高生の体験学習受入】

【保育士養成学校の学生の実習受入】

【ボランティアの受入】

【在籍職員の出身校訪問】

9 職員育成と研修計画

- ・園の課題や改善したいこと、伸ばしていきたいことなどを保育者それぞれの視点から発信し合い、全職員がそれらを「他人事」ではなく「自分事」と捉え、対話を通して主体的に取り組んでいけるようにする。
- ・職員全員が子どもの思いや願いを受け止め、子ども1人ひとりの発達過程に応じながら、保育所保育指針に基づく保育を実践できるようにしていく。
- ・共に子どもたちの育ちを見守っていく者同士、互いの保育観や子ども観の共有に努め、互いの保育を認め合いながら、子どもを肯定的に捉える保育者集団としての目を育てていく。
- ・保護者は我が子の子育てだけではなく、いろいろなことを背負って社会で、家庭で働き、身を削りながら、様々な感情を抱えながら、送り迎えを行っていることを念頭に置き、保育者はそれらのことをどれくらい理解できているのかということを中心に振り返りながら、「涙が出るほど感動する対応」ができるように人としての成長を重ねていく。

新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修

新人社員研修

- 新人社員研修
→ 会場研修
- 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿と環境構成	子どもの姿や発達を考慮しながら環境を設定する。
5月21日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② リズム体操	意識するポイントを押さえながらの実技。
6月18日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども観・保育観の共有	エピソード記録を通して、個々の子ども観・保育観を共有する。子どもの姿から語り合う。
7月16日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿と環境構成	子どもの姿を語り合いながら主体的に活動できる環境を考える。
8月20日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 救急救命・応急処置	園生活の中で起こりうる事故を予測し、それに応じた処置を学ぶ。
9月17日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園運営・保育品質の振り	内部監査チェック表を基に、園運営、保育、保護者対応、室内環境等の振り返りを行い、引き続

		返り	き、信頼される園づくりを進める。
10月15日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿と遊び	子どもの興味、関心、発達から夢中になって遊びこめる環境を考察する。
11月19日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども観・保育観の共有	エピソード記録を通して、個々の子ども観・保育観を共有する。子どもの姿から語り合う。
12月17日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② おもてなしの振り返り	保護者対応、見学対応、電話対応等、自園の、個々のおもてなしを振り返る。
1月21日（金）	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 表現活動の振り返り	テラスアトリエ化計画と日々の子どもたちの表現を振り返る。
2月	18:00～21:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議	今年度の振り返り。次年度の保育計画立案。
3月	18:00～21:00	① コンピテンシー自己採点 ② キックオフミーティング	次年度へ向けての共通理解。チーム作り。

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
4/27（火）	19:00～21:00	社会人としての基本マナー・接遇	渋谷本社	0円	0円
5/25（火）	19:00～21:00	DIYの遊具の実践的活用と安全点検	中目黒どろんこ保育園	0円	0円
6/8（火）	19:00～21:00	子どもの力を引き出す保育の境界線 ～あなたは信じて待っていますか？～	前原どろんこ保育園	0円	0円
7/27（火）	19:00～21:00	親子関係の発達と食行動の発達 食を通して形づくられる愛着関係とは	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円
8/24（火）	19:00～21:00	自我の発達と食行動の発達 楽しく食べる食育で「心」「自己肯定感」「生きる力を育てる」	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円
9/28（火）	19:00～21:00	保育園で大切なマネジメントとは？ ～キャリアアップ研修から～	鶴見どろんこ保育園 新羽どろんこ保育園	0円	0円
10/26(火)	19:00～21:00	食育の奥深さ「食」には一つ一つに意味がある」	郡山どろんこ保育園 駒沢どろんこ保育園	0円	0円
11/25(火)	19:00～21:00	さくらさくらんぼリズム	子ども発達支援センターつむぎ浦和美園	0円	0円
12/14(火)	19:00～21:00	園庭の無い保育園での火・水・土の挑戦	駒沢どろんこ保育園	0円	0円
1/13(木)	19:00～21:00	併設園での挑戦	つむぎ新羽ルーム つむぎ八山田ルーム	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（保育の質会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。 正職員およびパート・アルバイトを含めた6名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デモンstration	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

日々の散歩や青空保育等を通して園の存在を知ってもらい、身近に感じてもらい、地域の方々が園を気軽に訪れて、何気ない会話ややり取りを楽しめるような園を目指す。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回	公園名：本町二丁目公園にて
商店街ツアー	週1回	
世代間交流	近隣老人福祉施設、日の出商店街（ひので庵）	
異年齢交流	系列園や近隣保育園、近隣小学校、児童館との交流	
地域拠点活動	地域公開講座	

11 小学校との連携の計画

該当児なし

近隣小学校との異年齢交流としての可能性を探っていく。

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

対象児童在園時において、家庭での様子や保護者の願いを取り入れながら計画を作成する。また、職員間での情報共有を密にし、必要に応じて、その都度見直しを行う。

【毎月のケース会議開催】

対象児童在園時において、月1回実施。また、担当職員を選定し、全職員参加で行う。

【進級引継、および、小学校への引継】

乳児のみ入所対象となるため、必要に応じて実施。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって開催の有無、日時の変更の可能性有り

14 福祉サービス第三者評価の受審

今年度実施予定なし

15 園による自己評価の実施

2021年9月17日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：19時00分

自己評価終了予定時刻：20時00分

自己評価実施予定者：全職員

16 メリー★ポピンス 南蒲田ルーム3か年計画の具体化

日々の子どもの姿の振り返りや語り合いを重ねながら、「子ども中心」の保育を展開し、その保育実践の内容を保護者や地域に発信、共有していくことで、子どもに関わる大人が一体となって子どもの育ちを見守っていけるようにする。

『2021年度』

午前中の貴重な3時間を「散歩、遊び、労働」に充て、子どもと保育者が様々な事象に出会えるようにする。また、子ども主体の遊びが学びであることをしっかりと保障したうえで、子どもが夢中になって遊びこめる環境を構築し、そこから見えてきた子どもの姿の記録と語り合いを重ねながら、子どもを肯定的に捉える力を養っていけるようにする。同時に、保育者間の対話や専門性の向上、保護者への記録の共有（コミュニケーション）を通して、人間力のある保育者集団を目指す。

『2022年度』

「にんげん力」を育む子どもの生活や遊びの姿をポートフォリオやドキュメンテーション、公開講座等を通して、保護者と共有すること、地域に発信することの定着を目指す。また、適正な園運営がなされ、保護者はもちろん園に携わるすべての方々との良質なコミュニケーションを通して、信頼から選ばれる保育園となる。

『2023年度』

保育者一人ひとりが子どもを真ん中にした日々の学び合いから保育園の役割、専門職として求められる能力を追求し、子育てを行う者としての責任と人間力を兼ね備えた保育者集団となる。また、時代の流れを敏感に察知し、子どもの可能性を大人が奪ってしまわぬように主体的に学び続ける。そういった姿勢が信頼感に繋がり、通年で入所率100%、選ばれ続ける園となる。

作成日：2021年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 南蒲田ルーム 施設長 石原 幸太